

2024年11月18日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

【授賞式レポート】

第54回食品産業技術功労賞 サステナビリティ部門を受賞しました

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、この度、ノンフロン推進の取り組みを評価され、食品産業新聞社主催「第54回食品産業技術功労賞」サステナビリティ部門を受賞しました。11月5日に上野精養軒にて表彰式が行われ出席しましたのでご報告します。



表彰式にはフクシマガリレイ株式会社 取締役 副会長執行役員 福島 亮が登壇しました(写真左)

ノンフロン推進の取り組みを評価され、食品産業技術功労賞を受賞

フクシマガリレイは、業務用冷蔵庫にグリーン冷媒「R1234yf」を業界で初めて採用し、更に「冷媒ガス漏れ10年保証」サービスも実施することで、ノンフロン化を強力に推進しています。

従来、冷凍冷蔵庫に長く使用されていたフロン冷媒は地球温暖化に影響を及ぼすため、脱フロンが求められています。そこで「特定フロン」や「代替フロン」といった環境負荷の高いフロン類を使用せず、環境への影響が極めて少なく、なおかつ安全に取り扱える「グリーン冷媒」を採用した商品開発に取り組みました。今年4月には、業界で最も早くノンフロン業務用冷凍冷蔵庫をフルラインアップし、全面切り替えを行いました。

2021年には環境ビジョン『Dramatic Future 2050』を策定し、開発製造する冷凍機内蔵型製品の平均GWPを、2020年の2,008から、2025年には500以下にします。更に2025年製品・施工物件より冷媒漏洩による地球温暖化ゼロを目指し冷媒ガス漏れ10年保証の開始を予定しています。

◇特設サイト <https://www.galilei.co.jp/ecopartner/>

◆ノンフロン冷媒 R1234yf とは

冷蔵庫や製氷機は、庫内を冷やすために物質の状態変化を利用しています。そこで使用されているのが「冷媒」です。ガリレイでは冷媒による環境負荷低減に取り組むため、業界で初めてグリーン冷媒である「R1234yf」を採用しました。

環境への影響度を示す数値である GWP（地球温暖化係数）に着目すると、代替フロンのひとつ「R404A」が 3,920 であったのに対し、「R1234yf」はわずか 1。更に R1234yf は微燃性冷媒のため、同じノンフロン冷媒の R600a や R290 等の可燃性冷媒に比べ、燃焼性が低く、安全に取り扱え、ご使用の現場での修理・点検が可能な冷媒です。

◆環境ビジョン『Dramatic Future2050』

ガリレイグループでは、創業 100 周年となる 2051 年を見据えてサステナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、2030 年までの環境アクションの 1 つとして、グリーン冷媒への転換を掲げています。今回の授業では、業務用冷蔵庫やショーケースの基本的な仕組みから、業務用冷蔵庫の冷媒転換が地球温暖化防止につながっている事をご紹介します。

詳細：<https://www.galilei.co.jp/sustainable/>

◆表彰式の様子



お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：営業戦略部 企画広報課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2031 FAX：06-6477-0025

URL：<https://www.galilei.co.jp/>